




岐阜県内の経済情勢

令和6年4月22日

東海財務局 岐阜財務事務所

1. 岐阜県内の経済情勢（令和6年4月判断）

| 項目 | 前回（6年1月判断） | 今回（6年4月判断） | 前回比較 | 総括判断の要点 |
|------|-------------|--|---|--|
| 総括判断 | 緩やかに回復しつつある | 回復に向けた動きに一服感がみられる 【令和4年4月判断以来、8期ぶり下方修正】 |  | 個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。 |

〔先行き〕
 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

| 項目 | 前回（6年1月判断） | 今回（6年4月判断） | 前回比較 |
|------|-------------|--|---|
| 個人消費 | 持ち直している | 持ち直している 【令和5年10月判断以来、3期連続で同じ判断】 |  |
| 生産活動 | 持ち直している | 足踏みの状況にある 【令和4年4月判断以来、8期ぶり下方修正】 |  |
| 雇用情勢 | 緩やかに改善しつつある | 緩やかに改善しつつある 【令和4年10月判断以来、7期連続で同じ判断】 |  |

※6年4月判断は、前回6年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

1. 岐阜県内の経済情勢（令和6年4月判断）

【前回との比較（個人消費、生産活動、雇用情勢）】

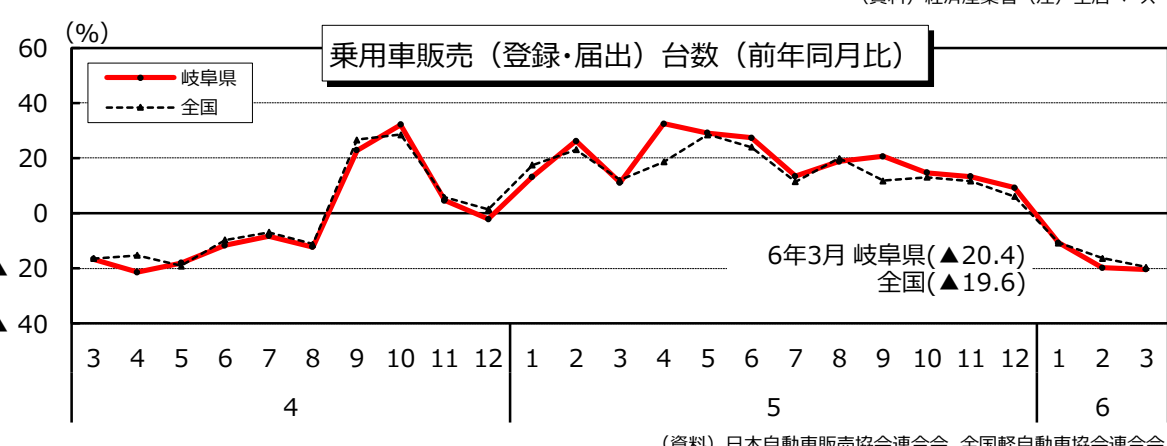
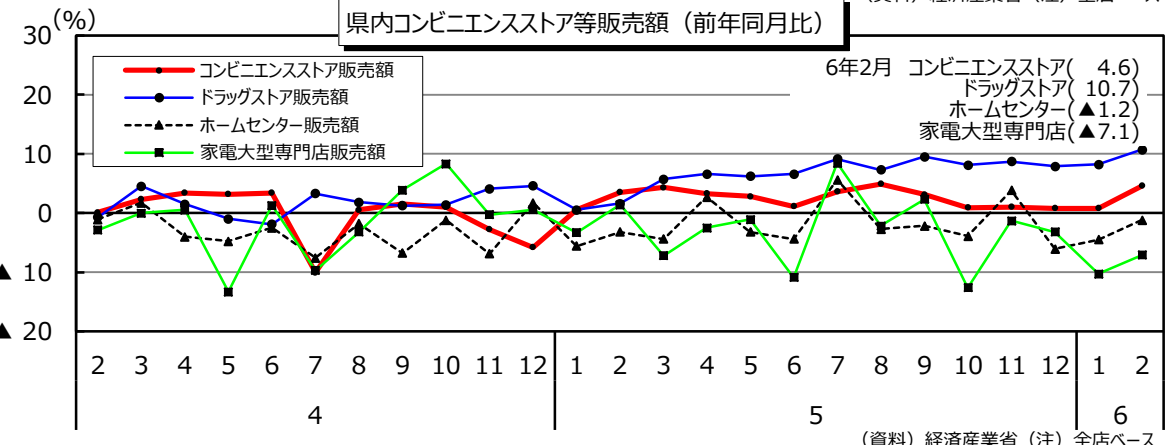
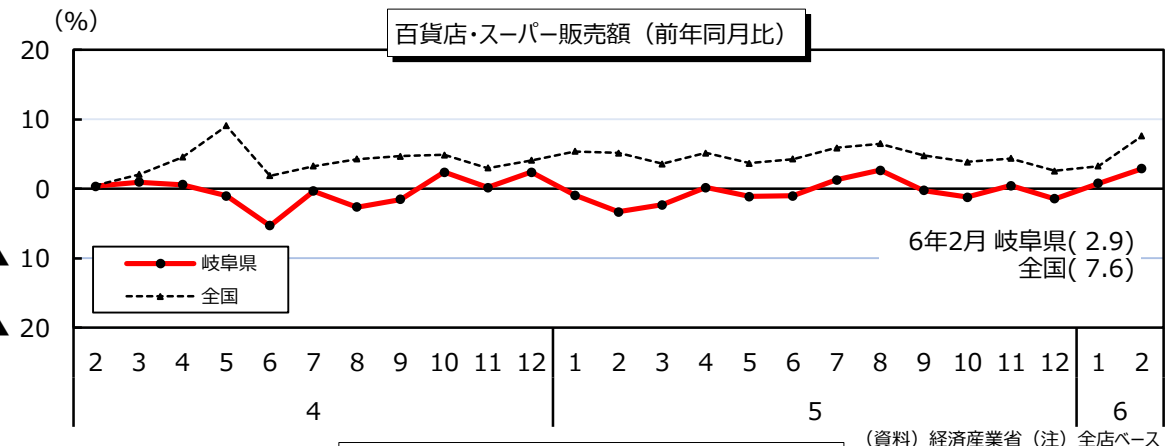
| | 前回（6年1月判断） | 今回（6年4月判断） | 前 回 比 較 |
|--------------|---------------------|---------------------------|---|
| 総括判断 | 緩やかに回復しつつある | 回復に向けた動きに一服感がみられる |  |
| 個人消費 | 持ち直している | 持ち直している |  |
| （百貨店・スーパー） | 緩やかに持ち直しつつある。 | 緩やかに持ち直しつつある。 |  |
| （コンビニエンスストア） | 持ち直しのテンポが緩やかになっている。 | 緩やかに持ち直している。 |  |
| （ドラッグストア） | 堅調となっている。 | 堅調となっている。 |  |
| （ホームセンター） | 弱い動きとなっている。 | 弱い動きとなっている。 |  |
| （家電） | 弱い動きとなっている。 | 弱い動きとなっている。 |  |
| （乗用車） | 持ち直している。 | このところ弱い動きとなっている。 |  |
| 生産活動 | 持ち直している | 足踏みの状況にある |  |
| （汎用機械等） | 高水準ながら、弱含んでいる。 | 弱い動きとなっている。 |  |
| （輸送機械） | 回復しつつある。 | 回復に向けた動きに足踏みがみられる。 |  |
| （電気機械） | 持ち直しの動きがみられる。 | 持ち直しの動きがみられる。 |  |
| （金属製品） | 回復しつつある。 | 回復に向けた動きに足踏みがみられる。 |  |
| （窯業・土石） | 弱い動きとなっている。 | 弱い動きとなっている。 |  |
| （プラスチック） | 弱い動きとなっている。 | 弱い動きとなっている。 |  |
| 雇用情勢 | 緩やかに改善しつつある | 緩やかに改善しつつある |  |
| （有効求人倍率） | おおむね横ばいで推移している。 | おおむね横ばいで推移している。 |  |

1. 岐阜県内の経済情勢（令和6年4月判断）

【前回との比較（設備投資、企業収益等）】

| | 前回（6年1月判断） | 今回（6年4月判断） | 前 回 比 較 |
|--------|---------------------------|-------------------------|------------------|
| 設備投資 | 5年度は増加見込み | 5年度は増加見込み | ➡ |
| 企業収益 | 5年度は減益見込み | 5年度は減益見込み | ➡ |
| 企業の景況感 | 全産業の現状判断（5年10-12月期）は「下降」超 | 全産業の現状判断（6年1-3月期）は「下降」超 | ➡ |
| 住宅建設 | 前年を下回っている | 前年を下回っている | ➡ |
| 公共事業 | 前年を下回っている | 前年を下回っている | ➡ |
| 企業倒産 | 件数は前年を上回っている | 件数は前年を上回っている | ➡ |

2.個人消費 ～持ち直している～

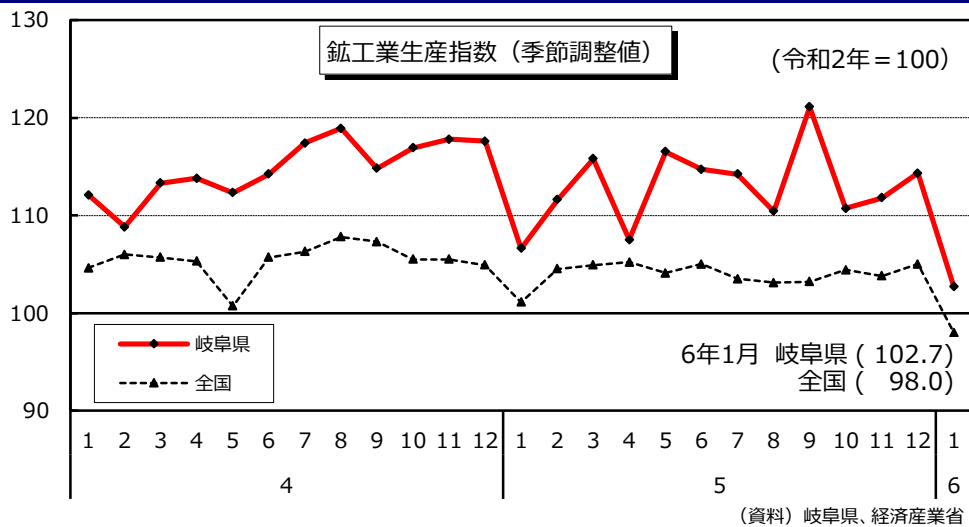


- 百貨店・スーパー販売は、緩やかに持ち直しつつある。
- コンビニエンスストア販売は、緩やかに持ち直している。
- ドラッグストア販売は、堅調となっている。
- ホームセンター販売は、弱い動きとなっている。
- 家電大型専門店販売は、弱い動きとなっている。
- 乗用車販売は、このところ弱い動きとなっている。

- 日常的に購入する商品では安価なPB商品が伸長する一方、節分やひなまつりなどでは、大容量で高単価のすしや惣菜が売れるなど、メリハリ消費がみられている。【スーパー】
- 外出機会の増加等により、化粧品や食料品のほか、風邪薬や花粉症対策商品が好調となっている。【ドラッグストア】
- 販売台数については、メーカーの生産停止及び出荷停止のほか、受注制限などにより、大幅な減少となった。【乗用車販売】

(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

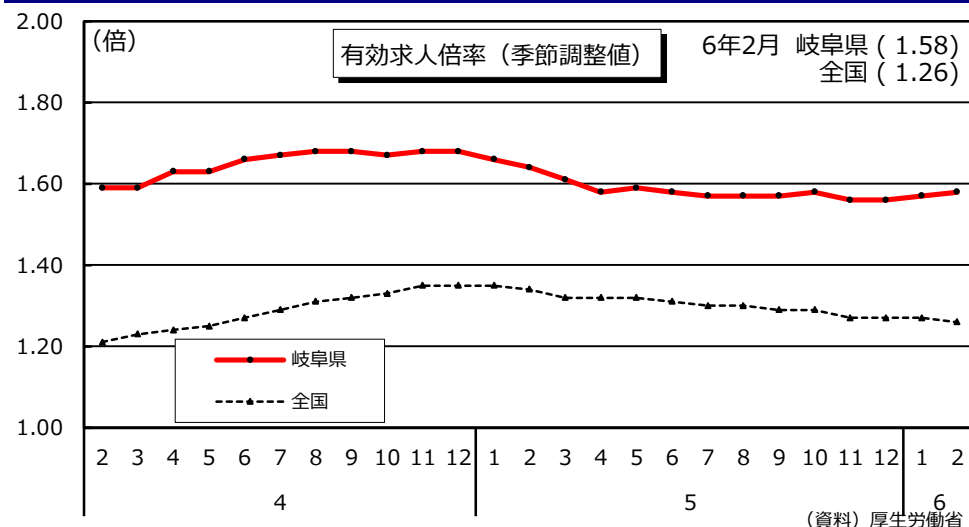
3.生産活動 ～足踏みの状況にある～



- ・ 汎用・生産用・業務用機械は、弱い動きとなっている。
- ・ 輸送機械は、回復に向けた動きに足踏みがみられる。
- ・ 電気機械は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 金属製品は、回復に向けた動きに足踏みがみられる。
- ・ 窯業・土石は、弱い動きとなっている。
- ・ プラスチックは、弱い動きとなっている。

- メーカーの生産停止の影響を受けて、大幅に生産減少。生産再開後は回復傾向。 【輸送機械】
- 欧州等の景気減速の影響により需要は減少傾向が続いており、これに伴い生産も減少傾向。 【汎用・生産用・業務用機械】
- メーカーの生産停止の影響を受けて、大幅に生産減少。足下では影響が残るものの、今後回復する予定。 【金属製品】

4.雇用情勢 ～緩やかに改善しつつある～



- ・ 有効求人倍率は、おおむね横ばいで推移している。

- 新規出店の際、パートやアルバイトの人手が必要になってくる。飲食等のサービス業をはじめとして、各種企業が採用をコロナ禍前の水準に戻していることから、集まりにくい状況となっている。

【ホームセンター】

- エンジニアについて人手不足が深刻化する中、外国人の活用や奨学金制度等により確保を図っているものの、それでも完全な充足には至っていない。

【乗用車販売】

- 地域、正規・非正規社員問わずに人手不足感がある。正規社員の離職率も高い。業界では、有資格者を高額報酬で引き抜くこともあるなど、ヘッドハントも頻繁にみられる。

【ドラッグストア】

- 既存従業員の離職防止のほか、新規採用含めた人材確保のため、賃上げを実施。

【輸送機械】

1.本調査結果に関する問い合わせは下記にお願いします。

財務省東海財務局 岐阜財務事務所 財務課

TEL (058)247-4112 (ダイヤルイン)

2.本調査結果の概要は下記ホームページでもご覧頂けます。

<https://lfb.mof.go.jp/tokai/gifu.htm>